

応援してくださっている法人・団体の皆様

多くの法人・団体の皆様からの活動資金や食品等の物資によってこの活動は支えられています。



※2025年5月現在

郡山 ハッピーチャイルド プロジェクト

発行
2025年
6月

2024年度事業報告書

代表メッセージ

郡山ハッピーチャイルドプロジェクト設立から3年目を迎えることができました。これも企業や個人の皆様からのご支援・ご協力によるものと心より感謝申し上げます。

認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえによる「こども食堂全国箇所数調査2024結果」によると、全国のこども食堂数は10,866箇所となり公立中学校を上回る結果となっています。こどもが安心・安全に過ごすことができる居場所の一つとして、こども食堂が定着し認知度の高まりに加えてボランティア以外の企業や各団体が運営するこども食堂も増加している背景があるようです。

現在、当プロジェクトが支援するこども食堂は、6市町村(郡山市、須賀川市、本宮市、田村市、鏡石町、玉川村)の36団体となり、2025年3月末時点でご支援いただいている企業様は70社、個人では7名となりました。またメインパートナーである(株)ヨークベニマル様本社で開催した「第1回活動報告会」や店舗にて実施しているフードドライブ事業も当プロジェクトを認知いただく機会となりました。

昨年度の活動として、通年のこども食堂への寄付食材の配布についてはこども食堂数の増加に加え、各こども食堂の活動の活性化やフードパントリーの開催など、必要とする食材数に寄付が追いつかない状況となっています。

ご支援いただいた寄付金による年2回のお米配布は、利用児童数や開催頻度に応じて分配率を定め配布し、延べ53団体へ6,693kgのお米を配布することができました。米価格が高騰している最中でもあり大変喜んでいただきました。

地域の子育て家庭へのフードパントリーでは配布数の倍以上の

ご登録がありニーズの高さを感じつつ、登録している全ご家庭に配布できない課題が残りました。配布できたご家庭からのアンケートでは大変多くの感謝メッセージをいただきましたが、同様に子育て家庭の貧困等による大変さや厳しい現状も多く寄せられ、本事業の維持継続の必要性を強く感じます。

新事業として展開した「宅食事業」は、市町村と連携し行政や社会福祉協議会が支援対象とするご家庭のなかで、特に食支援が必要なご家庭に定期的に食材を直接配布するという実効性が高い事業となっています。ぜひ多くの市町村と連携し配布対象を広げたいと考えています。

現状では、まだまだ支援が行き届かない家庭や地域が多くあります。私たちの活動がより地域の中に浸透し、多くのご家庭に支援を届けることができる体制を構築したいと思います。

また、郡山ハッピーチャイルドプロジェクトがひとつのモデルとなって、他の地域においても企業と地域のこども達を結びつけるネットワークが広がればと思います。

「地域でこどもたちを支える仕組みづくり」の実現に向けて、皆様の支援をしっかりとこどもたちへお届けしていきたいと思っています。



郡山ハッピーチャイルドプロジェクト 代表 佐久間 啓

寄付のご案内

※特典として、活動報告書の送付、ロゴ使用权、WEBサイトへのバナー掲載、社名記載などがございます。詳細はお問い合わせください。
※Syncable(シンカブル)は、個人と非営利団体を繋ぐ、寄付のプラットフォームサービスです。

法人／団体の方

当プロジェクトへの寄付は、下記の3つの方法より行うことができます。
継続したご寄付の場合「プロジェクトパートナー※」として特典がございます。

継続的な支援

毎月5,000円からの継続寄付
(口座振替)

年1回の支援

振込での寄付(銀行振込)

シンカブル※からの寄付

クレジット・Amazon Pay
ネットバンキング

個人の方

個人での寄付を希望されている方は
公式サイトを
ご覧ください。

公式
サイト



寄付に関するお問い合わせ

Tel. 024-945-0369 受付時間 平日(月～金曜) 9:00～17:00

Mail. happychild-p@aikuen.or.jp 郡山ハッピーチャイルドプロジェクト事務局 宛

あさかホスピタルグループ
社会福祉法人 安積愛育園

〒963-0102

福島県郡山市安積町笹川字経坦52
(総合児童発達支援センターアルバ内)

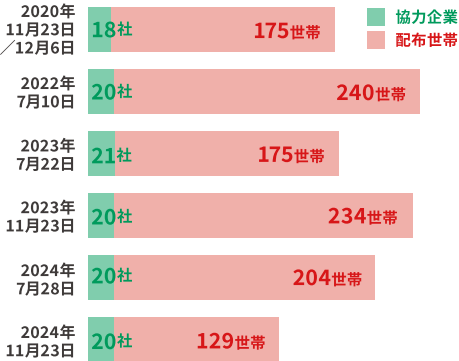
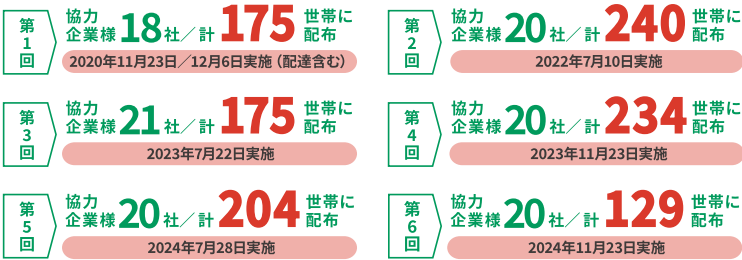
今年度も、たくさんの応援・支援をありがとうございました

「ひとりじゃないよ。
みんなで過ごそう。」



フードパントリー

当初、コロナ禍で大変な子育て家庭を応援したいと開始しました。
企業様からの寄付食材やロス食品を募集し子育て家庭を対象に無償で配布する
SDGs達成に向けた取り組みです。1家庭10kg相当分の食材を配布しています。



《宅食事業》の開始
～ フードパントリーの活動から ～
配布したご家庭からのアンケートに、様々な
ご事情により世帯収入が制限され、定期的な
食品支援の必要があるご家庭が一定数いる
ことが分かってきました。

〈実績〉
2024年12月から郡山市こども部こども家
庭課、須賀川市社会福祉協議会の協力を
得て、計300kg・54家庭へ配布しています。



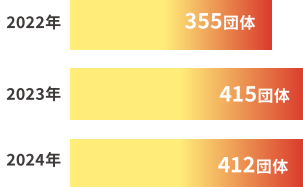
寄付食材配布事業

食材
提供



配布
団体数
のべ 770 団体

郡山周辺市町村のこども食堂30団体以上へ
お声掛け (2025.03現在)



ご支援



支援企業数
個人

プロジェクトパートナーの
企業様に加え、個人でご支
援いただいた方々の総数



各家庭
配布数
のべ 7,980 箱



市内放課後
児童クラブ
のべ 158 箱

各家庭配布数と郡山市内の放課後児童クラブ (2023年度で終了)



支援実績
2024年4月～
2025年3月

計 13,139,638 円

うち募金箱による寄付 1,410,723円

プロジェクトパートナー 70 企業 / 7 名
(3月末時点)

協賛企業・団体

米配布



のべ 6,693 kgの米



のべ 53 団体

月の利用児数、開催数、フードパントリーの開催数に応じて分配率を設定

年2回 (11月、3月) 配布

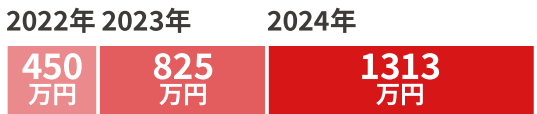


これまでの
寄付金総額



うち
募金箱による寄付

店舗等に募金箱を設置して
いただき集まった金額



9 企業 69 ヶ所



フードドライブ連携(ヨークベニマル全店実施)

ヨークベニマルでは「フードロスの削減」と「こども食堂の支援」を目的に
2023年5月からフードドライブ事業を実施しています。ご家庭で使いきれな
い食品をお客様から寄付(おすそわけ)していただく活動で、店舗に設置し
たボックスにいらしていただき、それを地域のこども食堂やフードパント
リー、フードバンクを運営している団体に毎月お渡ししております。
みなさんのおかげで、毎月たくさんの食品が集まり、参加された団体にも大
変喜ばれております。

実績
2024年3月～
2025年2月
合計 44,452 kg
(うち福島県 14,700 kg)



第1回活動報告会



当プロジェクトの第1回活動報告会を2024年10
月にヨークベニマル様本社にて実施。こども食堂・
企業・行政・関係者含め120名を超える参加があり、
2023年度の活動実績及び支援等を報告しました。
また、こども食堂の活動報告や企業の支援報告を
行い、こども食堂支援の理解を深め、多くの企業に
支援の輪を広げる機会となっています。

2024年度収支報告について

2024年度は、77の個人・企業の皆様、また9企業に設置され
た募金箱を通じ、合計で1,300万円を超える温かいご寄付を
賜りました。いただきましたご支援は、地域のこども食堂へ
のお米の支援に活用させていただき、3月に第1回の配布を実
施、10月には第2回の実施を予定しています。

今後は、情報発信をさらに強化するため、ウェブサイトのリ
ニューアルや広報活動の充実を図ってまいります。

皆様に心より感謝申し上げますとともに、引き続きご支援、
ご協力をお願い致します。



事業収入

寄付金収入	11,728,915	70企業 7個人
募金箱による寄付	1,410,723	66箱分
前年度繰越金	4,473,300	

収入 計 17,612,938

事業支出

食材配布	5,119,649	お米 (11月・3月) 他
広報費	420,262	活動報告書・webサイト維持費用等
消耗品費	31,500	募金箱購入
システム利用料	18,390	システム費用
通信費	81,010	切手・通信費等
その他	39,810	情報交換会ほか
事務局経費	3,941,891	
翌年度繰越金	7,960,426	

支出 計 17,612,938

情報交換会(お茶会)



郡山市こども食堂ネットワーク加盟のこども食堂や他エリアのこども食
堂の日々の様子や悩み等を共有しながら、より良いこども食堂の運営
や、協力・連携に向け情報交換をしています。
支援企業様にもご参加いただき、必要な支援をお伝えしたり、こども達
の様子をお知らせする機会を設けています。企業様とこども食堂との新
たな交流も生まれています。

参加団体
参加企業

